



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社

コード番号 4548 URL <https://www.seikagaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 杉山 大輔 TEL 03-5220-8950

配当支払開始予定日 ー

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切り捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	10,022	3.7	1,640	26.3	2,186	11.6	1,901	0.7
2024年3月期第1四半期	9,661	16.3	1,298	15.3	1,959	14.3	1,887	26.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 3,158百万円 (3.6%) 2024年3月期第1四半期 3,048百万円 (41.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	34.84	ー
2024年3月期第1四半期	34.62	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	83,414	74,731	89.6
2024年3月期	81,795	72,282	88.4

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 74,731百万円 2024年3月期 72,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	ー	13.00	ー	13.00	26.00
2025年3月期	ー				
2025年3月期(予想)		15.00	ー	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	10.5	3,950	812.1	4,550	169.0	3,450	57.8	63.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、『添付資料』P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、『添付資料』P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期1Q	56,814,093株	2024年3月期	56,814,093株
2025年3月期1Q	2,253,745株	2024年3月期	2,253,745株
2025年3月期1Q	54,560,348株	2024年3月期1Q	54,541,064株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、2024年8月5日より当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 研究開発活動	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)の売上高は、米国向け関節機能改善剤ジェル・ワンや中国向けアルツの減少があったものの、ロイヤリティーやLAL事業における海外販売の増加により、前年同期と比べ3.7%増の10,022百万円となりました。

営業利益は、研究開発費の減少等により26.3%増の1,640百万円となりました。経常利益は11.6%増の2,186百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、0.7%増の1,901百万円となりました。

セグメント別の売上概況

当社は医薬品の販売部門を持たず、それぞれの製品領域で強みを持つ国内外の企業と提携し、販売を委託することで、経営資源を研究開発や製造へ集中するビジネスモデルを展開しています。

このような事業環境を踏まえ、当社から販売提携先への売上概況のほか、販売提携先から医療機関への販売状況を「医療機関納入本数」または「現地販売本数」として記載しています。

<医薬品事業>

・国内医薬品(2,791百万円、前年同期比15.7%減)

主に関節機能改善剤アルツ及び眼科手術補助剤オペガン類の減少により、国内医薬品は前年同期比で15.7%の減収となりました。

関節機能改善剤アルツについては、引き続き競合品からの切り替えが進み、医療機関納入本数は前年同期比で増加しました。一方で、当社工場の増産体制整備に向けた設備メンテナンスに伴う出荷量の調整により、当社売上高は減少しました。

眼科手術補助剤オペガン類については、高齢化による緩やかな市場の成長に伴い、医療機関納入本数は増加しました。しかしながら、前年同期において競合品の限定出荷により当社製品の出荷が一時的に増加した反動で、当社売上高は減少しました。

また、腰椎椎間板ヘルニア治療剤ヘルニコアの当社売上高は前年同期比で減少し、内視鏡用粘膜下注入材ムコアップの当社売上高は増加しました。

関節機能改善剤ジョイクルは、出荷タイミングにより売上高が増加しました。本剤は2021年6月1日に安全性速報(ブルーレター)を発出しており、引き続き販売提携先である小野薬品工業株式会社と連携のうえ、副作用報告等の情報収集や安全性に関する情報提供を行っています。

・海外医薬品(1,147百万円、同50.6%減)

米国向け関節機能改善剤スパルツFX(5回投与)は前年同期比で増加しましたが、米国向け関節機能改善剤ジェル・ワン(単回投与)及び中国向けアルツは減少しました。これにより、海外医薬品は前年同期比で50.6%の減収となりました。

米国向けジェル・ワンについて、現地販売本数は前年同期並みとなりましたが、出荷タイミングにより当社売上高は減少しました。

米国向けスパルツFXについて、現地販売本数は前年同期並みとなりましたが、円安の影響により当社売上高は増加しました。

中国向けアルツについては、出荷を前期へ前倒ししたことにより、売上高は前年同期比で大幅に減少しました。

・医薬品原体・医薬品受託製造(732百万円、同12.4%減)

医薬品原体及び海外子会社ダルトンケミカルラボラトリーズインクの医薬品受託製造ともに減少したことにより、売上高は前年同期比で12.4%の減収となりました。

これらに加え、ロイヤリティー(2,388百万円、同241.5%増)の増加により、医薬品事業の売上高は7,059百万円(同1.6%減)となりました。

<LAL事業>

売上高は2,962百万円(同19.1%増)となりました。国内販売の増加に加え、海外子会社アソシエーツオペケープコードインクにおいて、遺伝子組換えエンドトキシン測定用試薬パイロスマートネクストジェンの新規顧客開拓が順調に進み、前年同期比で売上高が増加しました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,619百万円増加の83,414百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ829百万円減少の8,683百万円となりました。これは主に買掛金及び未払金の減少によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,448百万円増加の74,731百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益計上に伴う利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月13日に公表しました連結業績予想に変更はありません。

(4) 研究開発活動

当社グループは、世界の人々の健康で心豊かな生活に貢献するために、専門分野とする糖質科学に特化して、独創的な医薬品等の創製を目指しています。

当社が保有する糖質科学に関する基盤技術を応用展開し、既存領域における新規開発テーマや新規疾患領域を含む革新的な研究テーマの創出に注力するとともに、各種アライアンスを推進することで、今後の事業成長の鍵を握る新薬の早期かつ継続的な上市の実現を図っていきます。

当第1四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、1,557百万円で、対売上高比率（ロイヤリティー除く）は、20.4%となりました。

研究開発活動の主な進捗状況は、以下のとおりです。

・ SI-6603（腰椎椎間板ヘルニア治療剤、開発地域：米国）

2024年3月にSI-6603に関する生物製剤承認申請（BLA）を行い、同年5月にはBLAが米国食品医薬品局（FDA）によって受理されました。現在、承認取得に向けて準備を進めています。

本剤は、コンドリナーゼを有効成分とし、椎間板内に直接注射する治療剤です。全身麻酔の必要がなく、手術療法と比較して身体的侵襲が小さいという特徴を有しています。1回の投与で腰椎椎間板ヘルニアの症状改善効果が期待できることから、米国において新たな治療選択肢の提供を目指します。

その他の研究開発活動については、重要な変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,439	16,846
受取手形	69	55
売掛金	8,172	7,297
有価証券	5,592	4,415
商品及び製品	3,201	3,426
仕掛品	3,120	3,189
原材料及び貯蔵品	3,025	3,184
その他	2,953	3,097
貸倒引当金	△27	△43
流動資産合計	41,546	41,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,221	21,503
減価償却累計額	△15,476	△15,713
建物及び構築物（純額）	5,744	5,789
機械装置及び運搬具	24,624	25,148
減価償却累計額	△21,180	△21,613
機械装置及び運搬具（純額）	3,444	3,534
土地	1,106	1,129
リース資産	147	149
減価償却累計額	△64	△71
リース資産（純額）	82	77
建設仮勘定	3,728	4,351
その他	6,203	6,260
減価償却累計額	△5,091	△5,150
その他（純額）	1,111	1,109
有形固定資産合計	15,219	15,991
無形固定資産		
のれん	2,107	2,148
その他	1,093	1,190
無形固定資産合計	3,200	3,338
投資その他の資産		
投資有価証券	18,790	19,554
退職給付に係る資産	1,768	1,790
その他	1,276	1,276
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	21,828	22,613
固定資産合計	40,248	41,944
資産合計	81,795	83,414

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,652	1,133
短期借入金	300	300
リース債務	35	35
未払金	2,851	2,288
未払法人税等	113	167
賞与引当金	676	339
環境対策引当金	124	129
その他	1,443	1,884
流動負債合計	7,198	6,278
固定負債		
リース債務	61	56
繰延税金負債	2,108	2,204
資産除去債務	37	37
その他	106	106
固定負債合計	2,313	2,404
負債合計	9,512	8,683
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	54,738	55,930
自己株式	△2,259	△2,259
株主資本合計	61,620	62,812
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,526	5,810
為替換算調整勘定	4,180	5,191
退職給付に係る調整累計額	954	916
その他の包括利益累計額合計	10,661	11,918
純資産合計	72,282	74,731
負債純資産合計	81,795	83,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	9,661	10,022
売上原価	4,477	4,358
売上総利益	5,183	5,664
販売費及び一般管理費		
人件費	780	855
賞与引当金繰入額	83	93
退職給付費用	25	23
研究開発費	1,738	1,557
その他	1,257	1,494
販売費及び一般管理費合計	3,885	4,024
営業利益	1,298	1,640
営業外収益		
受取利息	29	43
受取配当金	179	194
為替差益	437	303
その他	17	14
営業外収益合計	664	556
営業外費用		
支払利息	0	1
固定資産除却損	0	7
支払手数料	0	0
その他	1	0
営業外費用合計	3	10
経常利益	1,959	2,186
税金等調整前四半期純利益	1,959	2,186
法人税、住民税及び事業税	93	250
法人税等調整額	△22	34
法人税等合計	71	285
四半期純利益	1,887	1,901
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,887	1,901

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	1,887	1,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,024	284
繰延ヘッジ損益	14	—
為替換算調整勘定	143	1,010
退職給付に係る調整額	△23	△37
その他の包括利益合計	1,160	1,257
四半期包括利益	3,048	3,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,048	3,158
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。

なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	LAL	計		
売上高					
国内医薬品	3,312	—	3,312	—	3,312
海外医薬品	2,324	—	2,324	—	2,324
医薬品原体・医薬品受託製造	835	—	835	—	835
ロイヤリティー	699	—	699	—	699
LAL	—	2,488	2,488	—	2,488
顧客との契約から生じる収益	7,172	2,488	9,661	—	9,661
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,172	2,488	9,661	—	9,661
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,172	2,488	9,661	—	9,661
セグメント利益	971	327	1,298	—	1,298

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
国内医薬品	2,791	—	2,791	—	2,791
海外医薬品	1,147	—	1,147	—	1,147
医薬品原体・医薬品受託製造	732	—	732	—	732
ロイヤリティー	2,388	—	2,388	—	2,388
L A L	—	2,962	2,962	—	2,962
顧客との契約から生じる収益	7,059	2,962	10,022	—	10,022
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,059	2,962	10,022	—	10,022
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,059	2,962	10,022	—	10,022
セグメント利益	1,309	330	1,640	—	1,640

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	332百万円	428百万円
のれんの償却額	42	48